

クラエモン

蔵衛リョウエイクラウドApp ファーストガイド



目次

当ファーストガイドでは『蔵衛門クラウド』の基本的な操作方法についてご案内します。
ご不明な点はお気軽にサポート窓口「蔵衛門DX相談窓口」までご連絡ください。

01. はじめに

現場共有アプリ『蔵衛門クラウド』へようこそ！	04
『蔵衛門クラウド』を使った業務の流れ	05
【蔵衛門クラウドApp】準備(初回)	06~07
トップページの見方	08
【蔵衛門クラウドApp】メニュー画面の見方	09
【蔵衛門クラウドApp】カメラ・黒板設定の見方	10
【蔵衛門クラウドApp】本体設定の見方	11
アカウント設定画面の見方	12

02. 写真を撮る

【基本編】工事をする	13
【基本編】写真を撮影する(黒板無し)	14
【基本編】カメラ画面の見方(黒板無し)	15
撮影機能を活用する(黒板無し)	16
撮影した写真を確認する	17
電子マーカーを書き込む	18

03. 黒板を作る

【基本編】黒板を作成する	19
【基本編】写真を撮影する(黒板有り)	20
【基本編】カメラ画面の見方(黒板有り)	21
撮影機能を活用する(黒板有り)	22
豆図を描く	23
豆図を登録する	24
登録した豆図を開く	25
黒板テンプレートを変更する	26
黒板テンプレートをダウンロードする①~②	27~28
【基本編】作成した黒板を確認する	29
【応用編①】黒板をパソコンで一括作成する①~③	30~32
【応用編②】パソコンで黒板に豆図を登録する	33
【応用編②】パソコンで黒板に豆図を一括登録する	34

目次

当ファーストガイドでは『蔵衛門クラウド』の基本的な操作方法についてご案内します。
ご不明な点はお気軽にサポート窓口「蔵衛門DX相談窓口」までご連絡ください。

04. 共有する

【基本編】工事のメンバーを追加する	35～36
【基本編】写真や黒板を共有する(工事のメンバー宛)①～②	37～38
【基本編】写真や黒板を共有する(工事のメンバー以外)	39

05. 蔵衛門御用達で台帳を作る

台帳連携の仕組み	40
【基本編】台帳を作成する①～③	41～43
【応用編】黒板情報の無い写真を取り込む	44

06. 図面を見る

図面(PDF)を取り込む	45
図面(PDF)をフォルダ分けする	46
図面(PDF)を見る	47

07. プレミアムになる

ライセンスコードを入力する	48
---------------	----

07. ご案内

操作方法がわからないときは	50
---------------	----

現場共有アプリ『蔵衛門クラウド』へようこそ！

現場共有アプリ『蔵衛門クラウド』をご利用いただく皆様へ。



**『蔵衛門クラウド』は、工事写真、電子小黒板、図面
そして台帳が「見える」現場共有アプリです**

従来の『蔵衛門Pad』に搭載していた、電子小黒板つき写真の撮影や写真の自動仕分け、台帳への文章自動転記の機能を継承。
通信SIMを搭載することで、クラウドと連携し、撮影した写真をすぐ共有。
また、ケーブルレスで写真をパソコンに取り込むことが可能になりました。

現場と事務所がリアルタイムにつながることで、
『蔵衛門クラウドApp』で撮影する「写真」を起点に、
今まで見えにくかった工事の環境や進捗状況を把握できます。

『蔵衛門クラウド』が現場の建設DXを強く後押しします。

『蔵衛門クラウド』を使った業務の流れ

『蔵衛門クラウド』は、黒板・写真をクラウドで保管することで、すぐに確認・共有ができます。また、現場にいながら台帳作成の指示まで行うことができます。

1 写真を撮る

- ・写真を撮影する
 - ・撮影した写真を『蔵衛門クラウド』で見る・管理する
-

2 黒板を作る

- ・工事情報を黒板に入力する
 - ・豆図を黒板に挿入する
 - ・複数の黒板を一括登録(『蔵衛門一括黒板』が必要です)
 - ・黒板付き写真を撮影する
-

3 共有する

- ・写真を『蔵衛門クラウド』ユーザーへ共有する
 - ・黒板を『蔵衛門クラウド』ユーザーへ共有する
- ※『蔵衛門クラウド』のユーザー登録は無料です
-

4 『蔵衛門御用達DX』に台帳を作る

- ・『蔵衛門クラウド』で台帳にしたい写真を選ぶ
- ・『蔵衛門クラウド』を通じて、『蔵衛門御用達DX』と連携する
- ・『蔵衛門御用達』に工事台帳を作成する

【蔵衛門クラウドApp】準備初回

iPadをご利用の方には、専用アプリ『蔵衛門クラウドApp』をご用意しております。
本ページでは、アプリのダウンロード方法についてご案内いたします。

- 1** 『蔵衛門クラウドApp』の紹介ページ、もしくはQRコードから専用サイトにアクセスします。
※パソコンからもご登録いただけます。



- 2** 『蔵衛門クラウド』のアカウント情報を入力してください。
必要事項を入力後、内容確認のうえ、【登録情報を送信】をします。



- 3** 運営側で登録情報の確認が終えましたら本登録のご案内メールを送付します。



- 4** 登録したメールアドレスに「【蔵衛門クラウド】本登録を完了してください」という件名のメールが届きましたら、「本登録へ進む」をクリックします。



【蔵衛門クラウドApp】準備初回

iPadをご利用の方には、専用アプリ『蔵衛門クラウドApp』をご用意しております。
本ページでは、アプリのダウンロード方法についてご案内いたします。

- 5** 「本登録情報の入力」に進みます。
パスワード等の必要事項を入力して、
「次へ」をクリックします。

※パスワードは

・8文字以上

・英大文字、英小文字、数字

を含む必要があります。



- 6** 『蔵衛門クラウド』の本登録情報の入力内容を
確認して「次へ」をクリックします。



- 7** 『蔵衛門クラウド』のアカウント登録完了後に
専用アプリのダウンロードリンク
「App Storeからダウンロード」のボタンを
タップしてインストールしてください。

iPadのホーム画面に『蔵衛門クラウドApp』の
アイコンがあればインストール完了です。



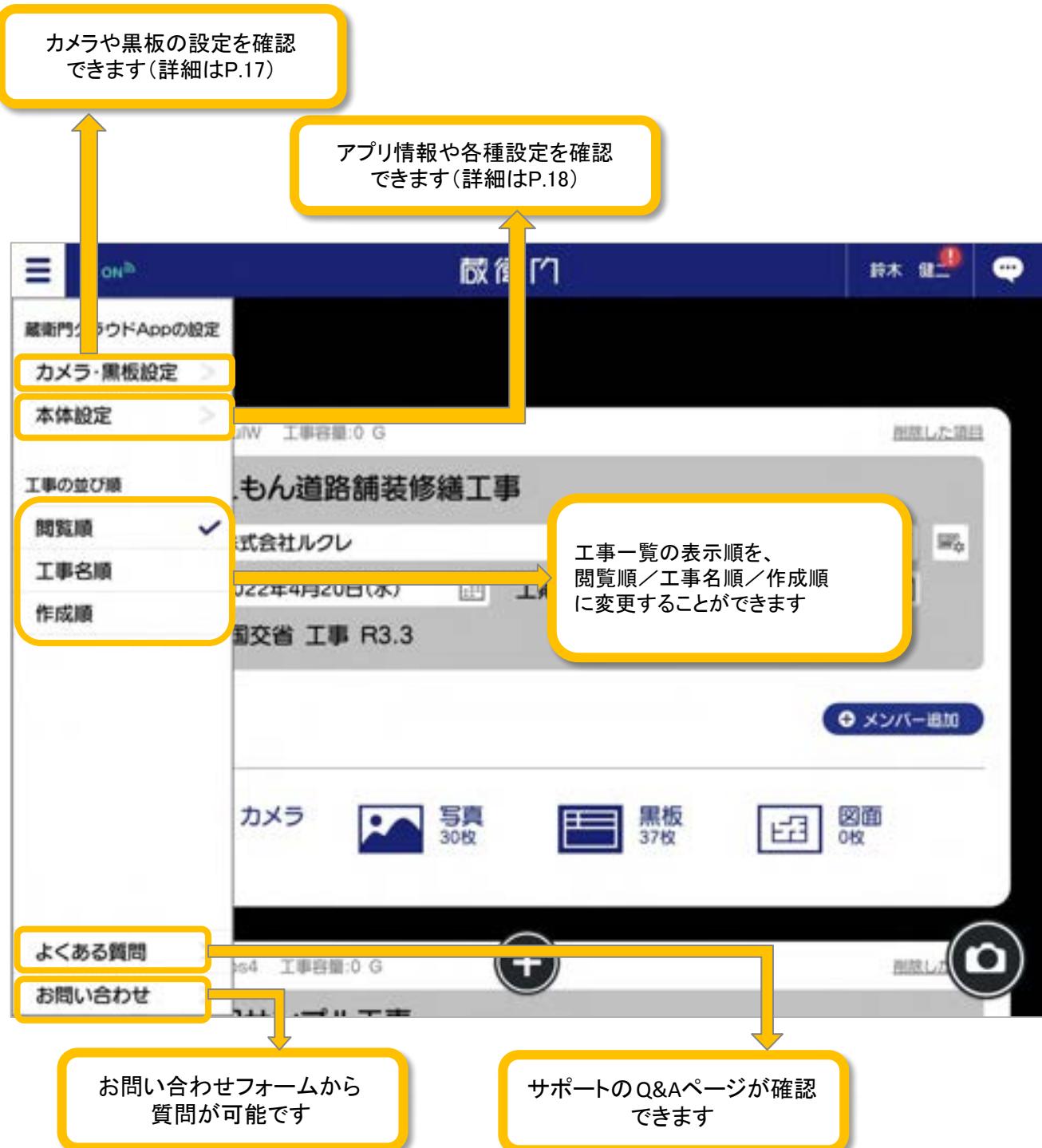
トップページの見方

トップページには作成した工事の一覧が表示されます。各工事のトップ画面では、写真の撮影や写真一覧、黒板一覧、トーク画面など様々な機能にアクセスできます。



【蔵衛門クラウドApp】メニュー画面の見方

メニュー画面では、工事の切り替えや各種設定、困ったときのFAQ(よくある質問)、サポートへのお問い合わせができます。



【蔵衛門クラウドApp】カメラ・黒板設定の見方

『蔵衛門クラウドApp』のカメラや黒板の設定を変更することができます。



①	写真整理情報の設定 (電子納品)	電子納品工事で使用する撮影アシスト・写真情報リンク機能を切り替えます
②	保存画面のスキップ (黒板無しカメラ)	確認画面をスキップして、写真の保存ができます
③	保存画面のスキップ (黒板有りカメラ)	確認画面をスキップして、写真の保存ができます
④	撮影日の表示形式	黒板に表示される撮影日を西暦や和暦から選択できます
⑤	写真の日付写し込み	写真の右下に日付を表示させることができます

【蔵衛門クラウドApp】本体設定の見方

GPS設定のほか、アプリのアップデートやアップロード状況の確認など、各種設定を確認できます。



①	GPS設定	写真情報に緯度経度などの位置情報を記録できます
②	アップデート確認	アプリバージョンを確認することができます
③	App ID	ご利用の『蔵衛門クラウドApp』の識別番号です
④	アップロード状況	写真や黒板のアップロード状況を確認できます
⑤	パスワードの保存	パスワード保存の可否を選択できます。
⑥	システム	システムに関する機能を確認・実行する際に利用します
⑦	アプリの初期化	『蔵衛門クラウドApp』のデータを初期化します

アカウント設定画面の見方

『蔵衛門クラウド』に登録すると、利用しているユーザーのアカウント情報が確認できます。

「>」をタップすることで登録情報の変更が可能です。

※未登録の場合、本画面は表示されません。



①	アカウント名	『蔵衛門クラウド』で登録した名前です。 アイコンはWebブラウザで設定できます。
②	会社名	『蔵衛門クラウド』で登録した会社名です。
③	部署名	『蔵衛門クラウド』で登録した部署名です。
④	メールアドレス	『蔵衛門クラウド』で登録したメールアドレスです。 ※変更した場合、新しいメールアドレスに送信されたメールのURLをクリックすると変更完了となります。
⑤	パスワード	『蔵衛門クラウド』で登録したパスワードです。 「>」をタップすると変更することができます。
⑥	契約プラン	『蔵衛門クラウド』のご契約プラン名及び、契約期日が表示されています。
⑦	蔵衛門クラウド容量	『蔵衛門クラウド』で利用できるデータ容量の状況が表示されています。

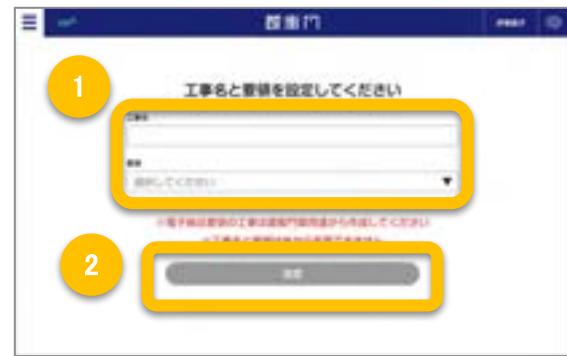
【基本編】工事を作る

はじめに工事を作成します。工事を作成すると写真の撮影や黒板の作成、メンバーの追加を行うことができます。

- 1 サンプル工事の画面にある【+】をタップします。



- 2 工事名、要領を設定し(1)、【決定】をタップ(2)します。



- 3 工事を作ると、トップページに工事ができます。



● トークは必ずチェックしましょう。

画面右上の吹き出しをタップすると「トーク」が表示されます。
「トーク」では工事に参加しているメンバーと連絡のやり取りが可能です。
ぜひ活用してください。



【基本編】写真を撮影する(黒板無し)

「黒板無し写真」を撮影して、撮影データを保存する方法です。

- 1** 工事一覧で、写真を撮影したい工事を画面に表示させ【カメラ】をタップします。
※どちらの【カメラ】でも起動します。



- 2** カメラが起動、撮影画面が表示されます。
右手中央にあるカメラボタンで撮影します。



- 3** 【保存ボタン】をタップします。

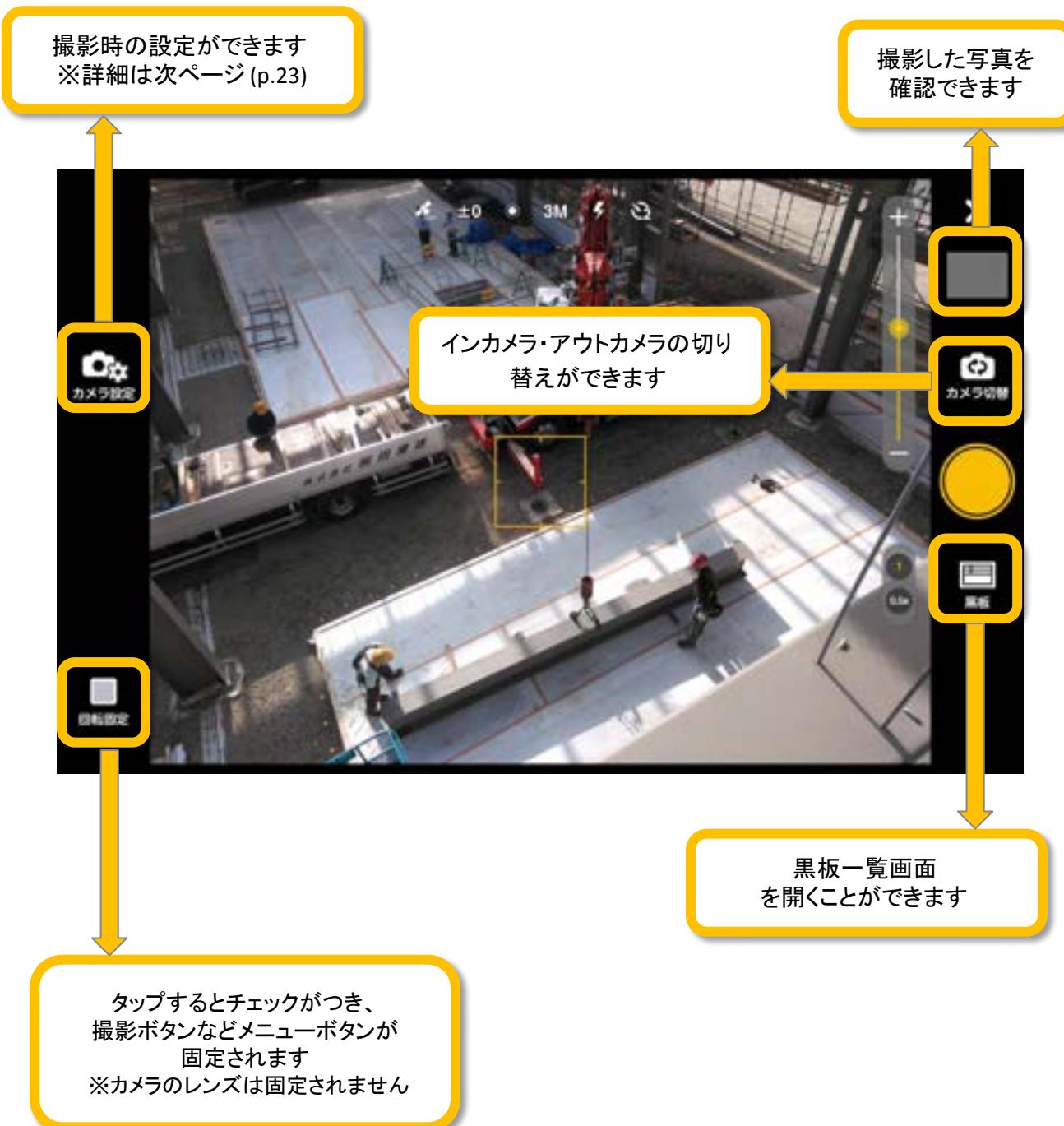


- 電子小黒板をつけた写真を撮影したい場合
- カメラ起動後の【黒板】ボタンをタップ、
もしくは「黒板一覧」にて撮影に使う黒板を選び、
カメラを起動する方法があります。
- 詳しくはp.28をご確認ください。



【基本編】カメラ画面の見方(黒板無し)

撮影機能を活用し、写真を撮影する方法です。
タブレットを縦に持つことで、縦型の写真撮影も可能です。



撮影機能を活用する(黒板無し)

カメラを起動後、「カメラ設定」をタップすると撮影機能を調整できます。

オート／白熱灯／昼光／蛍光灯／曇り
から選択できます

「+3」／「-3」の間で
露出調整が可能です



環境に合わせ、オート／オン／トーチ／オフ
の設定ができます

高画質(8M)／CALSHigh(3M)／CALSMiddle(2M)／CALSLow(1M)
から選択できます

※初期設定はCALSLow(1M)です

撮影した写真を確認する

撮影した写真を確認する方法です。(蔵衛門クラウドApp・Webブラウザ共通)
自分が撮影した写真だけではなく、メンバーが撮影した写真も確認することができます。

- 1** 工事一覧で、写真を撮影したい工事を
画面に表示させ、【写真】をタップします。



- 2** 写真が表示されます。
確認したい写真をタップします。



- 3** 写真が画面全体に表示されます。



- **写真の絞り込み、検索機能について**
- 写真一覧では「日時」「撮影者」「工種」「場所」を
絞って表示させることができます。
- また、【検索】をタップすると黒板に入力した内容で
検索することができます。
- ※『蔵衛門クラウド』未連携では利用できません



電子マークを書き込む

撮影した写真に対し電子マークを使う方法です。

1 電子マークを書き込みたい写真をタップし、
【マークアップ】をタップします。



2 左側に4つのメニューがあります。
【マグネット】【図の挿入】(1)を
それぞれタップします。

なお、【移動】(2)をタップすると、
写真の拡大操作ができます。
拡大したい場合2本指でスマホ画面に
触れたまま、指の間を離します。



3 文字を挿入したい場合は、
次の2つの方法があります。
【フリー】は手書き入力用です。
【T】はタブレットの入力で
文字を挿入できます。

電子マークを書き終えた後は、
写真を【保存】します。



- 電子マークの表示/非表示について
- 「マークアップ」アイコンの右隣にある
「詳細」をタップすると、電子マークの
表示/非表示を切り替えることができます。



【基本編】黒板を作成する

工事写真に必要な「黒板」の作成方法について説明します。

- 1 工事一覧で、写真を撮影したい工事を画面に表示させ、【黒板】をタップします。

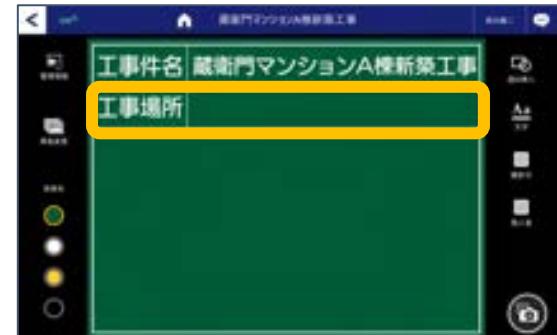


- 2 黒板一覧が表示されます。
【+】ボタンをタップします。

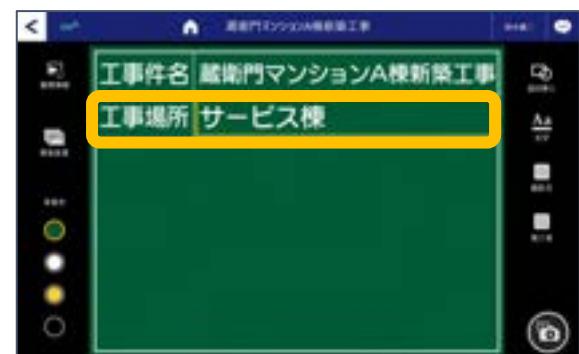


- 3 編集したい領域をタップすると、
キーボードが表示されます。

キーボードの使い方については
次ページ(p.23)をご参照ください。



- 4 すべての文字・数字を入力したら、
キーボード右端の【×】ボタンをタップするか、
画面上部の入力欄・キーボード部分以外を
タップしてキーボードを閉じます。



【基本編】写真を撮影する(黒板有り)

撮影機能を活用して、黒板を付けて写真を撮影する方法です。

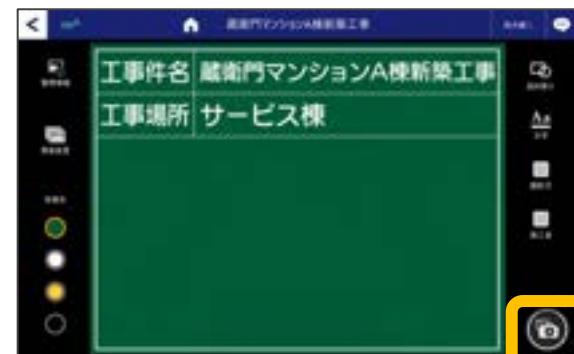
- 1 工事一覧で、写真を撮影したい工事を画面に表示させ、【黒板】をタップします。



- 2 黒板一覧から、撮影したい黒板をタップします。



- 3 黒板が表示され、画面に右下にあるカメラのアイコンをタップします。
※カメラと黒板がセットのアイコンが、黒板付きカメラの目印です。



- 4 黒板付きカメラが起動します。
右手中央にあるカメラボタンで撮影します。
保存ボタンをタップし、写真を保存します。



【基本編】カメラ画面の見方(黒板有り)

撮影機能を活用して、黒板付きの写真を撮影する方法です。
縦に持つことで、縦型の写真撮影も可能です。



撮影機能を活用する(黒板有り)

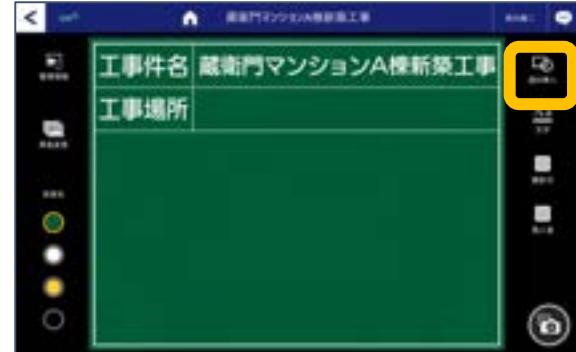
黒板付きの写真を撮影する際に黒板の設定ができます。



豆図を描く

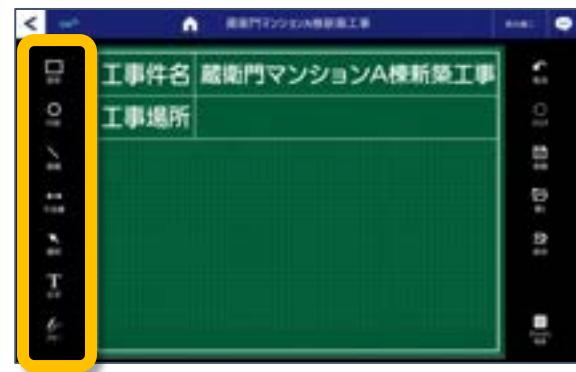
豆図を描くことができます。

- 1 黒板編集画面の右上にある【図の挿入】をタップします。



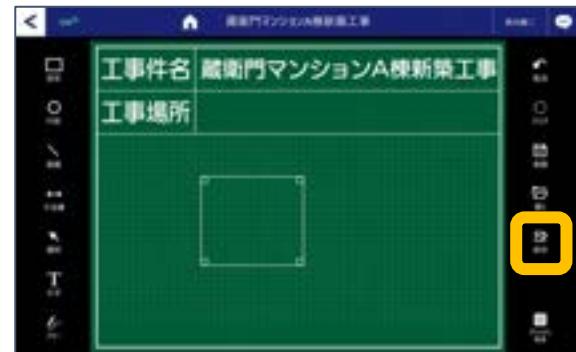
- 2 図形や注釈を生成するツールが左側に表示されます。

ツールを選択し、黒板のグリッド線が表示されている部分に、豆図を描くことができます。



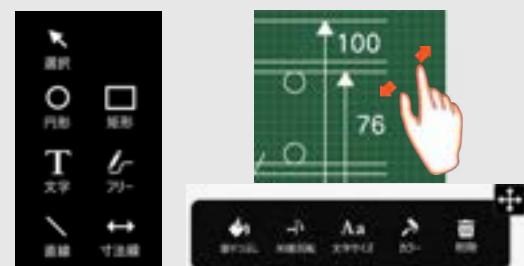
- 3 編集が完了したら【保存】をタップします。

「保存して終了しますか？」の表示を確認し、【OK】をタップして終了します。



豆図作成ツールの使い方

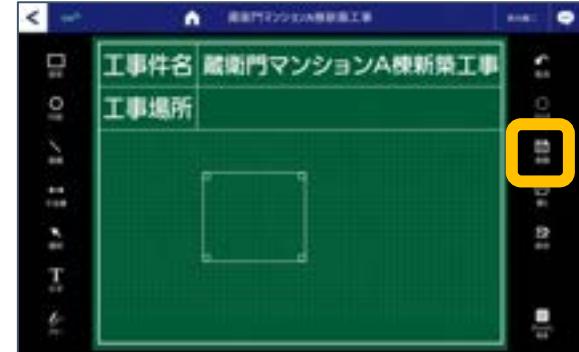
- 豆図作成時は、画面をピンチインすると黒板を拡大することができ、細かい描図ができます。
- 選択…一度作成した豆図を再編集できます
- 文字…自由な位置に文字を入力できます
- フリー…フリー手帳で線を引くことができます
- 寸法線…寸法線の描画と数値を入力できます



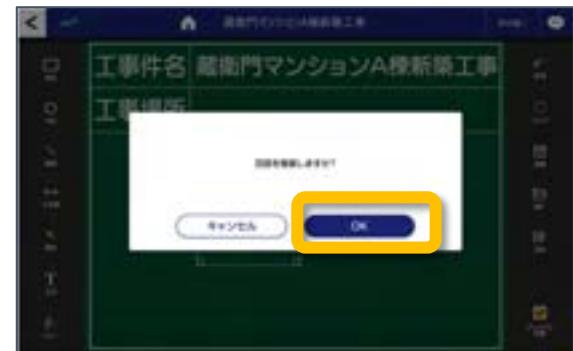
豆図を登録する

先ほど描いた豆図を登録することができます。登録した豆図は、他の工事でも使用できます。
事前によく使用する豆図を描画し、登録しておくと便利です。

- 1 豆図の作成が完了したら、保存の前に
豆図描画画面の【登録】をタップします。



- 2 【OK】をタップします。
「蔵」のマークが消えると
豆図の登録が完了します。



- 3 【開く】をタップすると、
登録された豆図の一覧が表示されます。

※登録した豆図は、別の『蔵衛門クラウドApp』には共有されません。



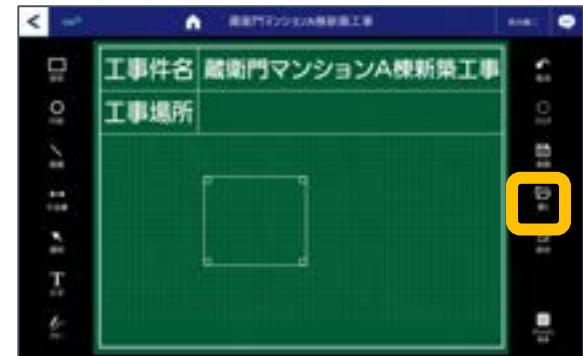
- 登録した豆図を削除する
- 削除したい豆図をタップし、選択された状態で(1)、
【削除】ボタンをタップすると(2)、削除するが出来ます。
複数枚削除したい場合は連続で豆図を選択してください。
- ※豆図は復元できませんので、ご注意ください。



登録した豆図を開く

登録した豆図を開き、黒板に貼り付けることができます。

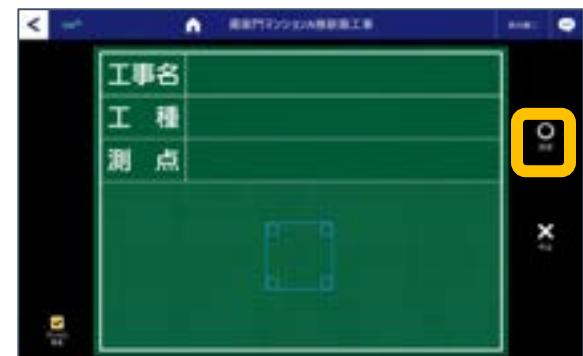
- 豆図描画画面の【開く】をタップします。



- 呼び出したい豆図を選択し、
【はい】をタップします。



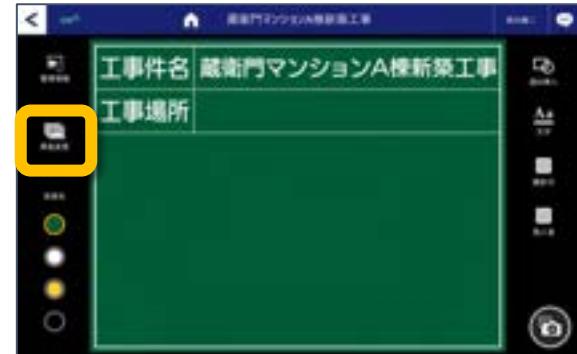
- 豆図を貼り付けたい位置に移動し、
【決定】をタップします。



黒板テンプレートを変更する

黒板テンプレートを変更する方法です。

- 1 黒板を画面に表示させ、
【黒板変更】をタップします。



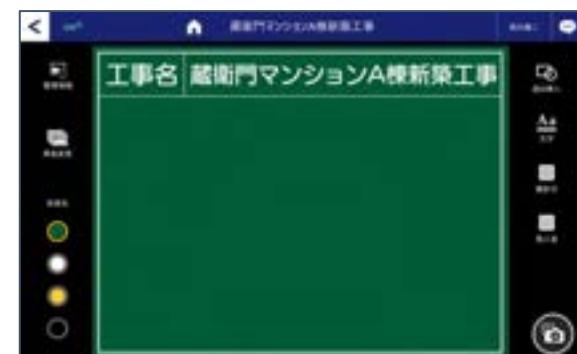
- 2 黒板テンプレートの一覧が表示されます。



- 3 変更したい黒板テンプレートを選択し、
【はい】をタップします。



- 4 黒板テンプレートが変更されました。

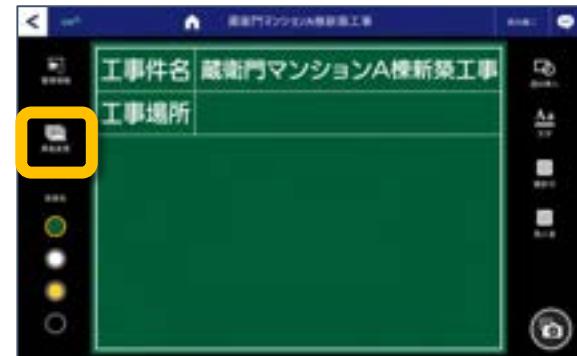


黒板テンプレートをダウンロードする①

新しい黒板テンプレートをダウンロードすることができます。

※黒板テンプレートをダウンロードするにはインターネットの接続が必要です。

- 1 黒板を画面に表示させ、
【黒板変更】をタップします。



- 2 黒板テンプレートの一覧が表示されます。
【黒板追加】をタップします。



- 3 ダウンロードできる黒板テンプレートが
表示されます。



- 4 ダウンロードしたい黒板を選択し、
【はい】をタップします。



黒板テンプレートをダウンロードする②

新しい黒板テンプレートをダウンロードすることができます。

※黒板テンプレートをダウンロードするにはインターネットの接続が必要です。

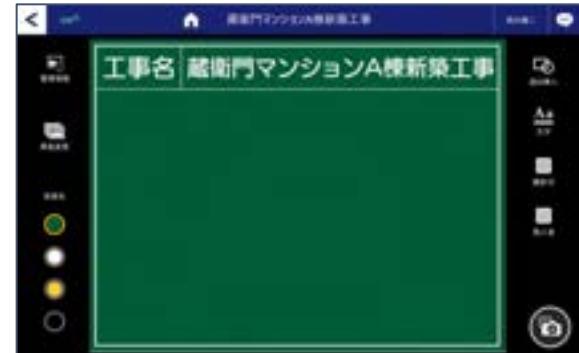
- 5 複数ダウンロードしたい場合は、該当の黒板にひとつずつチェックを入れ選択がすべて終えたら【ダウンロード】をタップします。



- 6 黒板テンプレートがダウンロード完了するまでお待ちください。



- 7 テンプレート一覧から、先ほどダウンロードした黒板が選択できるようになります。



● 黒板テンプレートを削除する

- 黒板テンプレートを選択すると、画面中央下に「削除」ボタンが表示されます。
- 「削除」ボタンをタップすると登録した黒板を、一覧から削除することができます。
- ※一度テンプレートを削除しても再ダウンロード可能です。



【基本編】作成した黒板を確認する

『蔵衛門クラウドApp』に入っている黒板を確認する方法です。
(蔵衛門クラウドApp・Webブラウザ共通)

- 1 工事一覧で、写真を撮影したい工事を画面に表示させ、【黒板】をタップします。



- 2 これまで作成した黒板が表示されます。
黒板付きの写真を撮影していた場合は、
黒板右下にサムネイルが表示されます。



- 3 【工種】選択後に【整理情報】をタップすると
写真整理情報を表示することができます。

上記のほかに【場所】ごとや、材料名・種別等
での検索、仕分け階層ごとに俯瞰して確認で
きる【フォルダ】からも確認できます。



- 写真の取り漏れを防止！【未撮影】をタップ
- 写真が撮影されていない黒板だけを表示できます。
- この機能を使って、写真の取り漏れを防ぎましょう。



【応用編①】黒板をパソコンで一括作成する①

利用したい黒板を、一括で複数枚作成する方法です。

- 1** パソコンから『蔵衛門クラウド』にログインして【アプリマーケット】のボタンをクリックします。
<https://kuraemon.net/kcloud/>



- 2** 『蔵衛門一括黒板』の【ダウンロード】をクリックしてインストールします。



- 3** インストール後、デスクトップから『蔵衛門一括黒板』を起動します。



- 4** 『蔵衛門クラウド』に登録したメールアドレスとパスワードでログインします。



【応用編①】黒板をパソコンで一括作成する②

利用したい黒板を、一括で複数枚作成する方法です。

- 5 「工事一覧」に『蔵衛門クラウド』で作成した工事が表示されています。
工事を選択して【次へ】をクリックします。



- 6 工事で使用する黒板を選択し(①)、
【次へ】をクリックします(②)。



- 7 テンプレート確認画面が表示されますので
【OK】をクリックします。



- 8 列は黒板の項目、行は黒板の数を示します。
各セル(枠)をダブルクリックすると
文字の入力ができます(①)。
必要な情報を入力したら、
【次へ】をクリックします(②)。



【応用編①】黒板をパソコンで一括作成する③

利用したい黒板を、一括で複数枚作成する方法です。

9 黒板の登録確認が表示されますので【はい】をクリックします。



10 黒板の登録が完了しました。

なお、【今すぐ黒板を確認する】をクリックすると『蔵衛門クラウド』から登録した黒板を確認することができます。



● Excelから、らくらく一括登録

『蔵衛門一括黒板』の工事情報入力画面は、Excelと連携しています。
Excelで工種や工事場所などの情報をあらかじめ入力しておけば、
コピー＆ペーストで簡単に『蔵衛門一括黒板』に入力することができます。

	工事場所	記号	形状	主筋	HOOP
1	3階	C1	1100x1100	36-D32	□-D13#100
2	3階	C2	1100x1100	36-D32	□-D13#100
3	3階	C3	1100x1100	28-D32	□-D13#100
4	3階	C4	1100x1100	28-D32	□-D13#100
5	3階	C5	900x900	20-D32	□-D13#100
6	3階	C6	1000x1100	24-D32	□-D13#100
7	4階	C1	1100x1100	36-D32	□-D13#100
8	4階	C2	1100x1100	36-D32	□-D13#100
9	4階	C3	1100x1100	28-D32	□-D13#100
10	4階	C4	1100x1100	28-D32	□-D13#100
11	4階	C5	900x900	20-D32	□-D13#100
12	4階	C6	1000x1100	24-D32	□-D13#100
13					
14					

	工事場所	記号	形状	主筋	HOOP
1	3階	C1	1100x1100	36-D32	□-D13#100
2	3階	C2	1100x1100	36-D32	□-D13#100
3	3階	C3	1100x1100	28-D32	□-D13#100
4	3階	C4	1100x1100	28-D32	□-D13#100
5	3階	C5	900x900	20-D32	□-D13#100
6	3階	C6	1000x1100	24-D32	□-D13#100
7	4階	C1	1100x1100	36-D32	□-D13#100
8	4階	C2	1100x1100	36-D32	□-D13#100
9	4階	C3	1100x1100	28-D32	□-D13#100
10	4階	C4	1100x1100	28-D32	□-D13#100
11	4階	C5	900x900	20-D32	□-D13#100
12	4階	C6	1000x1100	24-D32	□-D13#100

【応用編②】パソコンで黒板に豆図を登録する

『蔵衛門一括黒板』をつかって、登録する黒板に豆図画像 (JPEG)を挿入することができます。

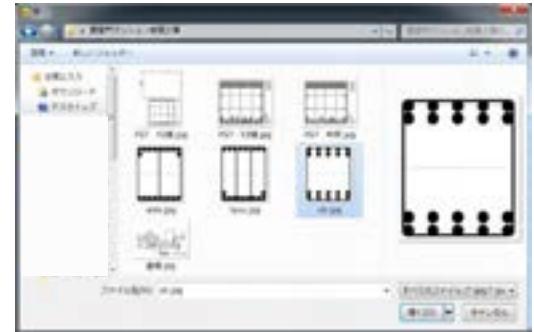
※『蔵衛門一括黒板』の利用については、前項「応用編①」をご参照ください。

- 1** 『蔵衛門一括黒板』の黒板情報入力画面の豆図から【追加】をクリックします。



- 2** あらかじめ用意されている豆図画像(JPEG)を選択して開きます。

※豆図画像はお客様自身でご用意いただく必要がございます。



- 3** 画面右下の【次へ】をクリックし、確認画面で【はい】をクリックすると、豆図が挿入された状態で『蔵衛門Pad DX』の黒板が登録されます。



- 『蔵衛門Pad DX』で豆図の位置を調整
- 『蔵衛門Pad DX』は、備考欄に挿入された豆図を移動、拡大縮小することができます。
- 黒板編集画面の図の挿入から登録した豆図をタップすると、豆図の編集ができます。



【応用編②】パソコンで黒板に豆図を一括登録する

『蔵衛門一括黒板』をつかって、登録する黒板に豆図画像 (JPEG)をまとめて挿入することができます。

- 1 黒板情報入力画面の【豆図を一括登録】をクリックします。



- 2 追加したい豆図をフォルダごと、ドラッグ&ドロップします。



- 3 豆図の項目にファイル名が入ります。
画面右下の【次へ】をクリックし、確認画面で【はい】をクリックすると、豆図が挿入された状態で『蔵衛門Pad DX』に黒板が登録されます。



一括登録前の事前準備

- 豆図は画像の名前順に登録されます。
事前に一括登録するフォルダ内の豆図の名前を
数字等に変更するとスムーズに登録ができます。



【基本編】工事のメンバーを追加する

工事にメンバーを追加すると、写真や黒板を共有することができます。

※メンバーになるには『蔵衛門クラウド』のアカウントが必要です。

管理者と一般の関係

工事にメンバーを追加した際、「管理者」と「一般」で権限が分かれています。

「管理者」は、工事にメンバーを招待する時に、招待者の権限を設定することができます。

※「一般」でも工事の招待は可能ですが、招待者の権限の設定はできません。

(蔵衛門Pad DX・Webブラウザ共通)

「管理者」と「一般」の権限の違いは、下記のとおりです。

		管理者		一般	
		閲覧	編集	閲覧	編集
写真	自分がアップロードした写真	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	自分に送られた写真	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	上記以外の写真	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
黒板	自分が作成した黒板	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	自分に送られた黒板	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	上記以外の黒板	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
図面	自分がアップロードした図面	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	自分に送られた図面	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	上記以外の図面	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
トーク	自分・全員宛てに送られたトーク	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/>	—
	他人宛てに送られたトーク	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>	—
御用達DX	台帳作成（本棚を開く）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
一括黒板	黒板を一括で作成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

「管理者」は、その工事に関わる写真や黒板を閲覧・編集することができます。

「一般」は、自身が撮った（作成した）、もしくは許可された写真（黒板）のみ編集が可能です。

他人に閲覧されてはいけない写真や黒板など、セキュリティを保った状態で工事が共有できます。

【基本編】工事のメンバーを追加する

作成した工事にメンバーを追加します(蔵衛門クラウド・Webブラウザ共通)。
※メンバーとして工事を見るには『蔵衛門クラウド』のアカウントが必要です。

- 1** 工事一覧で、該当工事を画面に表示させ、
【メンバー追加】をタップします。



- 2** 工事のメンバー管理画面にて、
【他のメンバーを追加する】をタップします。



- 3** 追加するメンバーの権限、メールアドレス、
自分の名前をメッセージを入力します。



- 4** 必要事項を記入後、【次へ】をタップすると
メールが送信されます。

送信が完了後に画面が切り替わり、
工事のメンバー管理画面に戻ります。



【基本編】写真や黒板を共有する(工事のメンバー宛)①

撮影した写真や黒板を『蔵衛門クラウド』のメンバーに共有する方法です。
本ガイドでは、写真を共有する場合の手順を掲載します。※黒板も同様手順です。
(蔵衛門クラウド・Webブラウザ共通)

- 1** 工事一覧で、共有したい工事を表示して、
【写真】をタップします。



- 2** 共有したい写真を選びます。
複数枚ある場合は
【選択】をタップすると複数選択ができます。



- 3** 選択終了後、【共有】をタップします。



- 4** 共有相手を選びます。
候補に出てくる名前は、工事のメンバーです。
選択後、【次へ】をタップします。



【基本編】写真や黒板を共有する(工事のメンバー宛)②

撮影した写真や黒板を『蔵衛門クラウド』のメンバーに共有する方法です。

本ガイドでは、写真を共有する場合の手順を掲載します。※黒板も同様手順です。

(蔵衛門クラウド・Webブラウザ共通)

5 しばらくすると画面が切り替わり、「トーク」画面になります。これで、共有は完了です。



- 共有を受けたユーザー側では…？
 - トップ画面の右上のトークボタンに赤い「！」マークがつきます。タップすると、「トーク」画面に切り替わります。
 - 「トーク」画面では、共有された写真が表示されています。
 - 共有した写真を確認した旨を知らせたい場合「+」ボタンをタップして「対応中」または「○完了」を選択してください。



【基本編】写真や黒板を共有する(メンバー以外)

撮影した写真や黒板を『蔵衛門クラウド』の メンバー以外 に共有する方法です。
本ガイドでは、写真を共有する場合の手順を掲載します。※黒板も同様手順です。
(蔵衛門クラウドApp・Webブラウザ共通)

- 1** 写真一覧にて、共有したい写真を選択し、
【共有】をタップします。



- 2** 共有相手の画面で、
【上記以外の人に共有する】を
タップします。



- 3** 共有したい相手の、「メールアドレス」
「自分の名前(差出人)」「メッセージ」を
入力します。

【次へ】をタップすると
メールが送信されます。



- 4** 送信が完了すると画面が切り替わり、
工事のメンバー管理画面に戻ります。

※共有先の方が写真を見るためには
『蔵衛門クラウド』のアカウントが必要です。
受け取ったメールにてアカウント登録可能で
す。

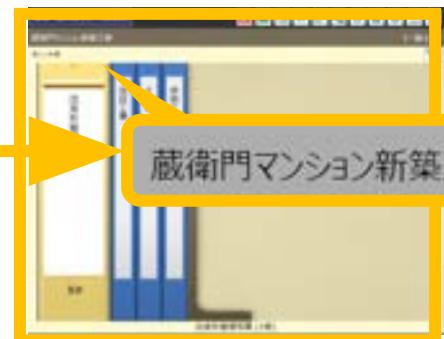
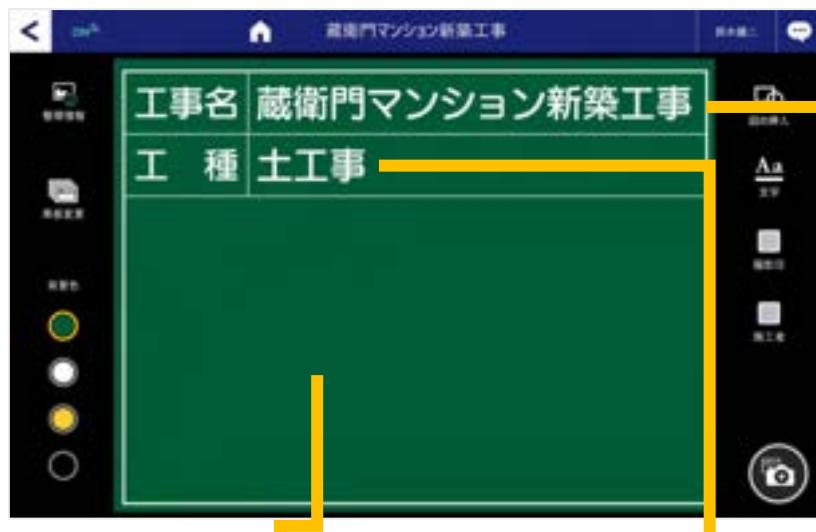


台帳連携の仕組み

黒板の情報に合わせて自動的に写真を整理して、台帳まで保存します。
どのようにして、黒板の情報が台帳に展開されるのかを図解で説明しています

黒板の情報と台帳の関係

工事名は本棚になります



(仕分け方法が標準の場合)
第二項目ごとに台帳が
作成されます

備考欄に入力された文字は
蔵衛門御用達の文章欄に反映されます

【基本編】台帳を作成する①

撮影した工事写真と黒板情報を、『蔵衛門御用達DX』に保存します。

- 1 パソコンで蔵衛門クラウドにログインします。
<https://kuraemon.net/kcloud/>



- 2 「アプリマーケット」のボタンをクリックします。



- 3 『蔵衛門御用達DX』の【ダウンロード】ボタンをクリックしてインストールします。



- 4 インストール後、デスクトップから『蔵衛門御用達DX』を起動します。



【基本編】台帳を作成する②

撮影した工事写真と黒板情報を、『蔵衛門御用達DX』に保存します。

- 5 『蔵衛門御用達DX』の工事一覧に先ほど作成した工事が表示されます。その工事を選択(①)して【開く】をクリックします。



- 6 『蔵衛門クラウドApp』で撮影した写真を取り込みます。【クラウドから写真取り込み】をクリックします。



- 7 写真の仕分け方法を選択します。まずは【黒板の項目ごと】を選択して【次へ】をクリックします。



- 8 仕分け結果が表示されます。よろしければ【次へ】をクリックします。



【基本編】台帳を作成する③

撮影した工事写真と黒板情報を、『蔵衛門御用達DX』に保存します。

9

『蔵衛門クラウドApp』で撮影した写真が『蔵衛門御用達DX』にアルバムとして保存されました。



- 撮った写真をさらに細かく細かく仕分ける
- 第二項目名(工種、工事場所など)より細別したい場合「仕分け結果」の画面で【もっと細かく】をクリックします。
- 黒板の第三項目名(記号など)ごとに、細かく仕分けることができます。



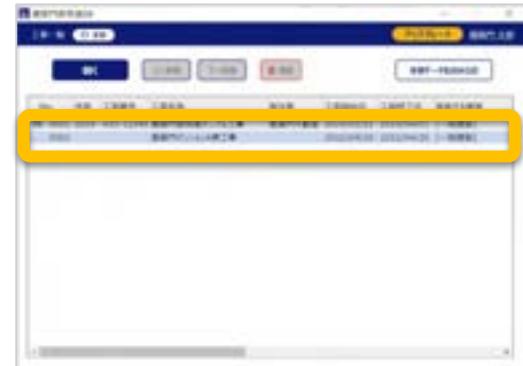
- 文章が表示されないときは？
- アルバム右上「工事写真情報(X)」を「写真文章(T)」に切り替えると黒板の文字が表示されます。
- 「工事写真情報(X)」では電子納品に必要な情報を入力することができます。



【応用編】黒板情報の無い写真を取り込む

黒板の無い写真は、工事情報が付与されていないため、そのままでは『蔵衛門御用達DX』に取り込むことができません。本ページでは、その場合の黒板の無い写真の取り込み方法を案内します。

- 1** 『蔵衛門御用達DX』から工事を選択します。
※どの工事を選んでも問題ありません。



- 2** 本棚の画面で、アルバムを右クリックします。
※どのアルバムを選んでも問題ありません。

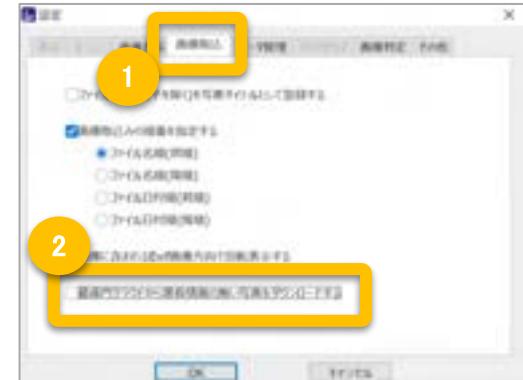


- 3** 【各種設定(①)】を選択後、
【プログラム全体の設定】をクリックします。



- 4** ウィンドウのタブから【画像取込】を選択後、
【蔵衛門クラウドから黒板情報の無い写真を
ダウンロードする】にチェックを入れます。

※以後、すべての工事に適用されて
黒板情報の無い写真が取り込めます。



図面(PDF)を取り込む

『蔵衛門クラウド』に図面(PDF)を入れることができます。取り込んだ図面はクラウドにアップロードされるため、つねに最新の図面を共有することができます。

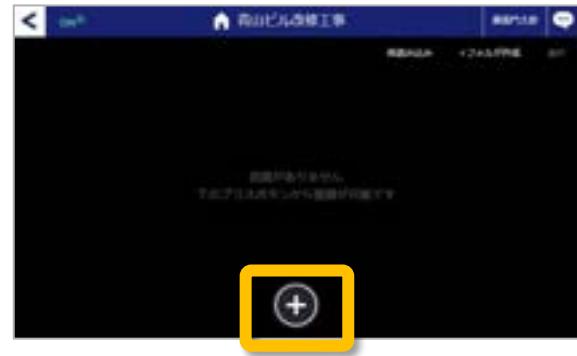
1 パソコンで『蔵衛門クラウド』にログインします。

<https://kuraemon.net/kcloud/>

工事一覧で、図面を取り込みたい工事を
画面に表示させ、【図面】をクリックします。



2 【+】(プラス)ボタンをクリックします。



3 【参照】をクリックし、
図面(PDF)を選択します。

もしくはファイルをドラッグ & ドロップし、
取り込む図面(PDF)を選択します。



4 【追加】をクリックすると、
図面(PDF)の取り込みが完了します。



図面(PDF)をフォルダ分けする

『蔵衛門クラウド』に取り込んだ図面(PDF)をフォルダ分けすることができます。フォルダの作成や図面(PDF)の移動は、パソコンで操作可能です。

- 1** パソコンで『蔵衛門クラウド』にログインし、【図面】から【フォルダ作成】をクリックします。



- 2** フォルダ名を入力し(①)、【OK】をクリックします(②)。

「フォルダを作成しました」と表示されたら【OK】をクリックします。



- 3** 【選択】をクリックします(①)。移動したい図面(PDF)を選び(②)、【移動】をクリックします(③)。



- 4** 移動したいフォルダを選択し(①)、【ここへ移動する】をクリックします(②)。

フォルダに図面(PDF)を仕分けることができました。



図面(PDF)を見る

『蔵衛門クラウド』に取り込んだ図面(PDF)を、『蔵衛門クラウドApp』で見ることができます。

- 1** 『蔵衛門クラウドApp』を起動します。
工事一覧で、図面を取り込みたい工事を
画面に表示させ、【図面】をタップします。



- 2** 閲覧したい図面(PDF)をタップします。

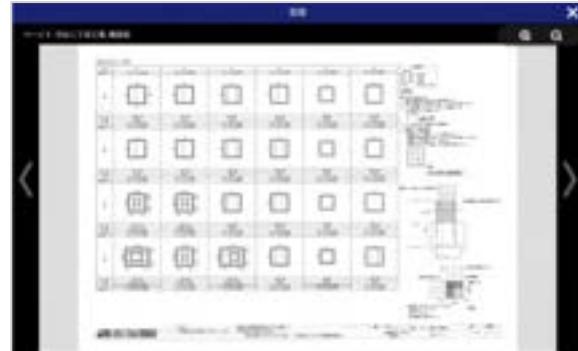


- 3** 図面のページ一覧が表示されます。
確認したい図面をタップすると、
ダウンロードがはじまります。



- 4** ダウンロードが完了すると、
PDFを見ることができます。

ピンチイン／ピンチアウトの操作で、
拡大／縮小をスムーズに操作できます。



ライセンスコードを入力する

『蔵衛門クラウド』のすべての機能をご利用になれる『プレミアム』のライセンスコード入力手順をご案内します。

- 1** パソコンで蔵衛門クラウドにログインします。
<https://kuraemon.net/kcloud/>



- 2** 画面右上の、ご自身の【アカウント名】をクリックします。



- 3** 「契約プラン」の右側にある【>】マークをクリックします



- 4** 現在の契約内容が表示されます
【契約内容の更新】をクリックします。



ライセンスコードを入力する

『蔵衛門クラウド』のすべての機能をご利用になれる『プレミアム』のライセンスコード入力手順をご案内します。

5 『蔵衛門クラウド』から発行された【ライセンスコード】を入力してください。

※プレミアムを購入する場合は、
画面下部【ライセンスコードを購入する】から
お手続きを進めてください。



6 【ライセンスコード】の入力が完了したら【OK】をクリックします。



7 契約内容が更新されました。
【OK】をクリックします。



● プレミアムを購入するには？

手順5【ライセンスコード】の入力画面で
【ライセンスコードを購入する】をクリックします。
「ルクレ☆オンライン」にサイトが移行しますので、
画面の指示に従って購入手続きを行ってください。

※「ルクレ☆オンライン」では『蔵衛門クラウド』とは別に
専用アカウントが必要になります。



操作方法が分からぬときは

『蔵衛門クラウド』『蔵衛門クラウドApp』に関するご相談・ご質問については、下記へお問い合わせください。

蔵衛門DX相談窓口

お問い合わせ先 dx@kuraemon.com

よくある質問 <https://www.kuraemon.com/faq/support/cloud/>

所在地 〒107-0061
東京都港区北青山1-2-3 青山ビル3F
株式会社ルクレ 蔵衛門DX相談窓口

～関連ガイド～

・蔵衛門クラウド ファーストガイド



・蔵衛門クラウド 電子納品ガイド

